

令和4年度

壬生町下水道事業会計補正予算
(第3号)

栃木県下都賀郡壬生町

令和4年度壬生町下水道事業会計補正予算（第3号）

（総 則）

第1条 令和4年度壬生町下水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第2条 令和4年度壬生町下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条に定めた業務の予定量を次のように改める。

（項 目）	（既決予定量）	（補正予定量）	（計）
（4） 主な建設改良工事			
雨水施設建設事業	173,970千円	99,000千円	272,970千円
農業集落排水建設事業	406,689千円	△1,327千円	405,362千円

（収益的収入及び支出の補正）

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 下水道事業収益	1,603,521千円	34,141千円	1,637,662千円
第1項 営業収益	632,694千円	△960千円	631,734千円
第2項 営業外収益	970,827千円	35,091千円	1,005,918千円
第3項 特別利益	0千円	10千円	10千円
支 出			
第1款 下水道事業費用	1,410,042千円	728千円	1,410,770千円
第1項 営業費用	1,302,504千円	2,178千円	1,304,682千円
第2項 営業外費用	104,756千円	△1,450千円	103,306千円

（資本的収入及び支出の補正）

第4条 予算第4条本文括弧書を「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額553,331千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額25,998千円、過年度分損益勘定留保資金1,909千円、当年度分損益勘定留保資金287,670千円、減債積立金20,000千円、当年度利益剰余金処分量217,754千円で補てんするものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
収 入			
第1款 資本的収入	1,017,968千円	99,361千円	1,117,329千円
第1項 企業債	556,900千円	49,900千円	606,800千円
第2項 補助金	411,400千円	44,565千円	455,965千円
第3項 負担金	49,668千円	4,896千円	54,564千円
支 出			
第1款 資本的支出	1,572,959千円	97,701千円	1,670,660千円
第1項 建設改良費	1,046,501千円	97,668千円	1,144,169千円
第2項 企業債償還金	525,658千円	33千円	525,691千円

（企業債の補正）

第5条 予算第7条に定めた起債の限度額を次のように改める。

(起債の目的)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
公共下水道事業	317,500千円	49,900千円	367,400千円

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正)

第6条 予算第10条に定めた経費の金額を次のように改める。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	84,121千円	△4,128千円	79,993千円

(他会計からの補助金の補正)

第7条 予算第11条を次のように改める。

下水道事業に充てるため、一般会計からこの会計へ負担を受ける金額は、408,577千円、及び補助を受ける金額は、240,854千円である。

(利益剰余金の処分の補正)

第8条 予算第12条を次のように改める。

当年度利益剰余金のうち217,754千円は、次のとおり処分するものと定める。

(1) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん 217,754千円

令和5年3月2日提出

壬生町長 小 菅 一 弥

下水道事業会計補正予算に関する説明書

令和4年度壬生町下水道事業会計補正予算実施計画

令和4年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

令和4年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

注 記 表

令和4年度壬生町下水道事業補正予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 下水道事業 収益			1,603,521	34,141	1,637,662
	1 営業収益		632,694	△960	631,734
		1 下水道使用料	585,560	△960	584,600
	2 営業外収益		970,827	35,091	1,005,918
		2 他会計負担金	337,604	△6,466	331,138
		3 他会計補助金	216,061	24,793	240,854
		4 国庫補助金	8,900	1,085	9,985
		5 長期前受金戻入益	383,912	△4,659	379,253
		6 雑収益	24,349	20,338	44,687
	3 特別利益		0	10	10
1 過年度損益修正益		0	10	10	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 下水道事業 費用			1,410,042	728	1,410,770
	1 営業費用		1,302,504	2,178	1,304,682
		2 ポンプ場費	17,542	2,458	20,000
		3 処理場費	331,954	4,910	336,864
		4 水質規制費	7,405	△1,709	5,696
		5 総係費	83,083	△2,807	80,276
		7 減価償却費	748,361	△9,361	739,000
		8 資産減耗費	8,044	8,687	16,731
		2 営業外費用		104,756	△1,450
	1 支払利息及び企業債取扱諸費		104,756	△1,450	103,306

資本的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的収入			1,017,968	99,361	1,117,329
	1 企業債		556,900	49,900	606,800
		1 企業債	556,900	49,900	606,800
	2 補助金		411,400	44,565	455,965
		1 国庫補助金	411,400	44,565	455,965
	3 負担金		49,668	4,896	54,564
		1 他会計負担金	30,756	△96	30,660
2 受益者負担金及び受益者分担金		3,512	6,320	9,832	
3 工事負担金		15,400	△1,328	14,072	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1 資本的支出			1,572,959	97,701	1,670,660
	1 建設改良費		1,046,501	97,668	1,144,169
		1 公共下水道事業費	596,357	99,000	695,357
		3 農業集落排水事業費	406,689	△1,327	405,362
		4 事務費	25,732	△5	25,727
	2 企業債償還金		525,658	33	525,691
1 企業債償還金		525,658	33	525,691	

令和4年度壬生町下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

1. 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	218,754,266
減価償却費	738,999,332
固定資産除却費	16,729,852
賞与等引当金の増減額(△は減少)	172,126
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,496,449
長期前受金戻入額	△379,261,328
受取利息及び受取配当金	△1,000
支払利息	103,304,171
未収金の増減額(△は増加)	△58,675,436
未払金の増減額(△は減少)	<u>11,009,684</u>
小計	652,528,116
利息及び配当金の受取額	1,000
利息の支払額	<u>△103,304,171</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	549,224,945

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△1,339,889,161
無形固定資産の取得による支出	△18,367,260
国庫補助金等による収入	471,490,402
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	30,757,083
受益者負担金及び受益者分担金による収入	8,938,420
工事負担金による収入	<u>14,072,600</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832,997,916

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

一時借入れによる収入	200,000,000
一時借入金の返済による支出	△200,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	809,800,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△525,689,571</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	284,110,429

資金増加額(又は減少額)	337,458
資金期首残高	<u>292,742,369</u>
資金期末残高	293,079,827

令和4年度壬生町下水道事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土地		435,873,941	
ロ 建物	860,800,349		
減価償却累計額	<u>△374,663,191</u>	486,137,158	
ハ 構築物	33,077,692,540		
減価償却累計額	<u>△14,025,110,310</u>	19,052,582,230	
ニ 機械及び装置	5,915,677,152		
減価償却累計額	<u>△4,010,125,398</u>	1,905,551,754	
ホ 車両運搬具	3,508,916		
減価償却累計額	<u>△3,114,845</u>	394,071	
ヘ 工具、器具及び備品	27,441,439		
減価償却累計額	<u>△25,443,358</u>	1,998,081	
ト 建設仮勘定		<u>1,193,352,320</u>	
有形固定資産合計			23,075,889,555
(2) 無形固定資産			
イ 施設利用権		<u>447,696,800</u>	
無形固定資産合計			<u>447,696,800</u>
固定資産合計			<u>23,523,586,355</u>

2 流動資産

(1) 現金預金		293,079,827	
(2) 未収金	185,513,698		
貸倒引当金	<u>△5,339,738</u>	<u>180,173,960</u>	
流動資産合計			<u>473,253,787</u>
資産合計			<u>23,996,840,142</u>

負債の部

3	固定負債				
	(1) 企業債				
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	6,983,555,328			
	企業債合計		6,983,555,328		
	固定負債合計				6,983,555,328
4	流動負債				
	(1) 企業債				
	イ 建設改良費等に 充てるための企業債	551,338,816			
	企業債合計		551,338,816		
	(2) 未払金		177,382,397		
	(3) 引当金				
	イ 賞与等引当金	5,915,403			
	引当金合計		5,915,403		
	(4) その他流動負債		2,435,500		
	流動負債合計				737,072,116
5	繰延収益				
	(1) 長期前受金		21,884,264,154		
	(2) 収益化累計額		△10,304,198,994		
	繰延収益合計				11,580,065,160
	負債合計				<u>19,300,692,604</u>

資本の部

6	資本金				4,110,753,730
7	剰余金				
	(1) 資本剰余金				
	イ 補助金	216,494,944			
	ロ 受贈財産評価額	6,269,000			
	ハ 負担金	1,989,732			
	資本剰余金合計		224,753,676		
	(2) 利益剰余金				
	イ 減債積立金	121,885,866			
	ロ 当年度未処分 利益剰余金	238,754,266			
	利益剰余金合計		360,640,132		
	剰余金合計				<u>585,393,808</u>
	資本合計				<u>4,696,147,538</u>
	負債資本合計				<u>23,996,840,142</u>

注 記 表

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

建物 8～50年

構築物 35～50年

機械及び装置 6～30年

工具、器具及び備品 4～20年

車両運搬具 4～5年

イ 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法による。

・主な耐用年数

施設利用権 45年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

退職手当の支給については、栃木県市町村総合事務組合で共同処理しており、下水道事業からも定期的な負担金を拠出している。また、それ以外の追加費用については、発生の見込みがないため、退職給付引当金は計上していない。

イ 賞与等引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不納見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 引当金の取崩し

ア 賞与等引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当、勤勉手当の支給及びそれらに係る法定福利費を支出するため、賞与等引当金4,671千円を取り崩す予定である。

イ 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、債権の不納欠損に充当するため、貸倒引当金1,733千円を取り崩す予定である。

3 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

下水道事業会計は、公共下水道事業及び農業集落排水事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、これらの2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
公共下水道事業	主に市街地における、し尿・生活雑排水等の処理及び雨水排除
農業集落排水事業	農業集落における、し尿・生活雑排水等の処理

(2) 報告セグメントごとの営業収益等

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

（単位：千円）

	公共下水道事業	農業集落排水事業	合 計
営業収益	513,985	64,605	578,590
営業費用	966,249	294,605	1,260,854
営業損益	△ 452,264	△ 230,000	△ 682,264
経常損益	118,267	101,189	219,456
セグメント資産	15,923,645	8,073,195	23,996,840
セグメント負債	12,717,296	6,583,396	19,300,692
その他の項目			
他会計繰入金	377,142	328,435	705,577
減価償却費	528,307	210,693	739,000
特別利益	9	0	9
特別損失	684	27	711
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	893,680	464,576	1,358,256